

見せます！市の経営状況 『スマートシティ都留2009(都留市自治体経営白書)』発行！



この「スマートシティ都留2009」は、市の現状や実態、問題点などを包み隠さず「見せる」ことで、「見えてくる」課題を、市民と行政の協働の力で解決していくことを目的に発刊したものです。

2009年度末時点での本市の財政状況、8つのアクションプランの進捗状況、今後の課題や方向性を掲載しています。

これは、本市の行財政改革の柱である「見える化」の取り組みの1つであり、行財政経営の成果についてアカウンタビリティ(説明責任)を果たすための手段として、2006年度版より発行しています。自分が住んでいるまち「都留市」の現状を知ること、より良いまちづくりへの

都留市の経営状況は？ 一緒に点検しましょう！

「スマートシティ都留2009(都留市自治体経営白書)」は、「I 都留市の計画(PLAN)」「II 市政の推進(DO)」「III 市政の点検(CHECK)」「IV 行財政改革の取り組み(ACTION)」の4つの章で構成されています。

これは、業務を継続的に改善させるためのサイクルである「PDCAサイクル」を意識したものとなっています。

意識を高め、「学び、発見、実践」みんなで創る「スマートシティ都留」の実現を目指します。

この「白書」は、市役所1階ロビー、各地域コミュニティセンターで入手できるほか、市ホームページからダウンロードすることができます。

tsuru
topics

都留市行財政改革推進計画を策定しました

◆何を指す計画なの？

第5次都留市長期総合計画で掲げる「スマートシティ都留」の実現に向け、事務事業の見直しや職員の資質向上、民間委託の拡大などを通じて、スリムで市民満足度の高い行財政経営を確立させます。

◆2つの重要な視点をもって計画を推進します

◎見える化

市民に対してより分かりやすい形で情報を公表し、市民と行政の情報の共有を進めます。

◎協働

行政だけでなく、様々な団体が主体となって連携し、まちづくりに積極的に関わられるよう、その手段や体制の整備を進めます。

◆都留市行財政改革推進計画の策定へ

◆これまでの行財政改革
都留市では、これまで「協働」「自立」「効率」の3つの視点を柱とした「第3次都留市行財政改革大綱」と、国から出された地方自治体に対する行革推進の指針を踏まえた「都留市行財政改革集中改革プラン」に基づき、無駄のない効率的な行財政経営に努めてきました。

◆計画の内容は？
I 健全な行財政経営の推進
1 事務・事業の再編・整理
2 安定的な税源の確保
3 広域行政の推進
II 質の高い市民サービスの提供
1 職員の定員管理の適正化と人材力の醸成
2 民間活力の導入の推進
III 電子自治体の推進
1 ICTを活用した市民サービスの向上
2 ICTを活用した文書管理の効率化

この計画は、市ホームページでも公表していますので、ご覧ください。

第43回都留市体育祭り開催！！



7月9日・10日の二日間を中心に、都留市体育祭りが市内9地区体育振興会対抗により、市内各会場で行われました。各競技では地区の名譽をかけた約2,000名の選手が14種目18種別(陸上は雨天中止)で熱戦を繰り広げた結果、東桂地区体育振興会が昨年の雪辱を果たしてみごと総合優勝を成し遂げました。

なお、9日にやまびこ競技場において開催された開会式において、都留市のスポーツ振興、発展に貢献された方に贈られる体育功労者賞及び優秀な成績を収めた団体・個人に贈られる体育協会奨励賞の授賞式がとり行われました。

大会の結果、並びに受賞者は次のとおりです。

男女総合

優勝 東桂地区体育振興会
準優勝 禾生地区体育振興会
第三位 上谷地区体育振興会

男子の部

優勝 東桂地区体育振興会
準優勝 禾生地区体育振興会
第三位 上谷地区体育振興会

女子の部

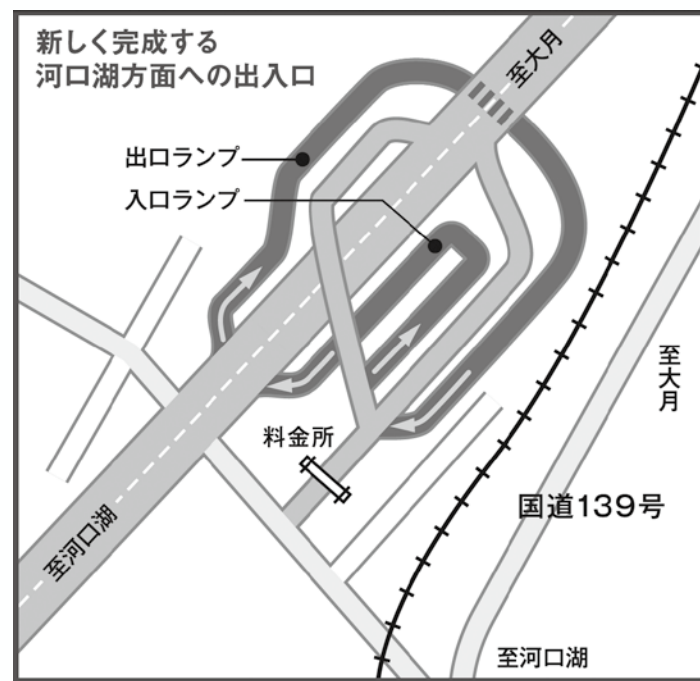
優勝 禾生地区体育振興会
準優勝 東桂地区体育振興会
第三位 盛里地区体育振興会

都留市体育功労者賞受賞者

小俣和子(下谷地区体育振興会)
萱沼 真(バレーボール協会)
稀代 靖(野球連盟)
鈴木恵美(禾生地区体育振興会)
小林信太郎(下谷地区体育振興会)
渡辺 浩(ソフトボール協会)
古屋佳誉子(陸上競技協会)
天野みさ子(卓球協会)
三井正行(都留市体育指導委員会)
白鳥末男(バスケットボール協会)
体育協会奨励賞
亀沢史憲(第47回全国ろう学校卓球大会・男子団体優勝)
佐藤穰司(第18回日本・韓国・中国ジュニア交流競技会U17日本代表選手/ラグビー)
道心館道場世界大会出場/空手道

tsuru
topics

中央自動車道都留インターチェンジが いよいよフルインターチェンジになって開通します！



■都留IC⇄河口湖ICの通行料金など

距離	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車
16.3km	500円	600円	650円	850円	1,300円

中央自動車道都留インターチェンジは、これまで東京方面のみの出入りができる、「ハーフインターチェンジ」という形でした。

今回、平成19年12月より着工していたフルインター化の工事が終了し、8月10日15時から、河口湖方面への出入りが利用できるようになります。

この都留インターチェンジのフルインター化は、昭和59年のハーフインターチェンジ以降、長らく待ち望まれてきたものです。

フルインター開通によって、都留市と富士吉田市間の中央自動車道利用が可能となり、大幅な時間短縮による利便性の向上や、国道139号線の慢性的な交通混雑の緩和など、大きな効果が期待されます。

また、今後は、市内の観光施設などへのアクセス向上も見込まれ、地域活性化への期待も高まります。

この都留・河口湖両インター間の料金などについては、表をご覧ください。